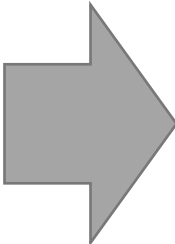


■徳島市の文化の現状・課題と目指す方向性

現 状	課 題	方向性
<p>大型公演を鑑賞できる場の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オペラ、バレエ、ミュージカルなどの大型舞台芸術を鑑賞する施設の不足 ● 徳島市立文化センターの利用中止 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民の鑑賞機会が制約されることから、新たな観客や関心を育てることに限界が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ すそ野を広めていくこと（鑑賞者の育成）と頂点をつくること（創造と発信） これまで鑑賞者育成の機能が弱かったことなどから、鑑賞者を増やし、文化・芸術のすそ野を広げていくことが望まれる。また、すそ野を広げるためには高みが必要であり、創造活動により伸長させていくことも求められる。
<p>鑑賞行動の近隣他都市への流出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通網の発達による鑑賞者の流出（明石海峡大橋の開通による大阪圏へ、四国内の高速道路の整備による隣県へ） ● 近隣他都市の施設による大型公演の開催（香川県県民ホール〔高松市〕、高松市文化芸術ホール〔高松市〕、兵庫県立芸術文化センター〔西宮市〕など） 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 身近な場所で文化・芸術を享受できる環境が不足していることから、次世代の育成、高齢化などへの対応が遅れている。 ● 他都市から人を呼び込む交流人口増加への期待が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育、福祉、産業、観光などの様々な分野との連携 文化の果たす役割が拡大し、教育、福祉、医療、産業、観光、国際交流など様々な分野でも力を発揮し、社会とのつながりを意識した文化・芸術活動や、文化がまちづくりの重要な要因となっている。 文化に投資をすることで、教育を豊かにし高齢者を元気にし、文化を通じた新たな産業を生み出し経済的発展へとつながることで、心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現なども期待される。 また、徳島市のまちづくり、シティブランドの確立のための手段として文化を活用していくことが求められる。
<p>創造活動のための場の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音楽芸術、舞台芸術などを練習できる機能を有した施設の不足 ● 日常的に音楽芸術、舞台芸術などを公演する創造拠点の不足 ● 文化・芸術を創造するための支援体制の不足 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多彩な市民の文化・芸術活動や文化資源をさらに発展させていくことが難しい。 	
<p>文化・芸術を振興するための体制の遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホール施設における自主的な文化事業の実施不足 ● 音楽芸術、舞台芸術などの育成を支援する専門性を有する人材の不足 ● 文化・芸術に関する情報の蓄積や公開を定期的に行うための体制の遅れ 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門的人材の配置と育成が定期的に行われていない。 ● 文化・芸術関連情報の提供及び公開が定期的に行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材＝人財の育成、文化の継承 文化・芸術活動を活性化させ、将来にわたり継続していくために、新たな文化振興を支える担い手としての人材を育成していくことが求められる。 また、徳島市が歴史的に培い、蓄えてきた伝統的文化を後世に伝えるだけでなく、新たな地域文化として育み、創造し、発信しつづけていくことが期待される。
<p>徳島の豊かな文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温暖な気候と豊かな自然に恵まれた風土と歴史に生まれ、阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染・阿波しじら、木工製品、すだちなど多彩で個性的な文化を有している。 ● 神戸鳴門ルート、四国縦貫・横断道の結節点として位置づけられ、交通の要所となっている。 	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 徳島市の魅力である多彩な地域の文化資源を活用しきれていない。 ● 近年整備された交通網や高速情報化時代の利点を活用しきれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な担い手の育成と専門性の確保 自らが表現活動をする人だけでなく、非営利活動や文化ボランティア活動なども支援することにより、様々な市民を文化・芸術活動の担い手として育成する。 また、専門的な視点を持って活動の展開を行い、市民の文化・芸術活動の支援を行うため、専門的な人材を育成する。